

令和7年度東京都立八王子西特別支援学校経営報告

保護者満足度 98%

令和7年度の活動

1 生きる力を育てる生き生きとした教育活動

- ①各種プロジェクト お花植え、昼の放送、ダンス、読み聞かせ(図書館、教員、子ども)、プロバスケ、クラシック鑑賞・絵はがき配布・食育・ヒップホップ・夏祭り
- ②各部・全校活動 くわのみ祭・学校公開、実習報告会・生徒会・高等部集会・音楽発表、ダンスフェスティバル、中記録会、小相撲体験、**小陵南公園プレイパーク**、**中プロバスケ訪問**、**高地域業体験**
- ③行事・交流 校外(全学年)、宿泊学習・修学旅行、交流(東浅川小・浅川中・八王子南)・**都立校(有志ダンス・陸上部)**

2 質の高い教育サービスの提供

- ①研究授業(274回)、全校研修会(50回)、若手研修(97回)、外部専門員活用(PT・OT等、大学教員等30人1098.25時間)
- ②ICT 報告会・教材プレゼン・デジタル教材授業・端末活用多数
摂食・言語・歯科相談(歯科医、ST12回)、教材展示会(年1回)
- ③保護者進路研修(年15回 他校参加多)、摂食・認知・アセスメント・医ケア・精神科医研修、希望就労(100%)地域研修(20回)
- ④ビルクリ・喫茶検定1級多数→態度・姿勢・雰囲気高評価
- ⑤支援事業 不登校(増12名)・支援会議(20回)・相談(153回)
- ⑥夏季プール(午前実施・S B送迎、保護者高評価) ⑦企業内定(41%)

3 安全・安心な教育環境整備

- ①教育環境整備と計画的・組織的対応継続(行方不明対応・災害時バス待機場所・雪対応)、**いじめ等案件対応マニュアル整備**
- ②警察・消防連携の安全対策と防災訓練計画的実施(高評価)
- ③防災委員会(2回)、心の日と相談日(3回全児童生徒保護者)

4 開かれた学校積極的推進とセンター的機能強化

- ①情報発信(マチコミ・HP470回、学校日記175回)
- ②学校公開(1976名)、副籍直接交流(30名)、喫茶(週2日) **企業**・地域祭(菓子喫茶・ビルクリ・太鼓)、地域交流(20名)

5 ライフワークバランス推進

効率化と組織的対応で高(学校評価94%)、メンタル研修(2回)

6 通学区域変更と新規授業対応

- ①上級学校見学(八王子南特支)・町田市施設一覧配布
- ②校庭開放等都事業積極的協力と医ケア・形態食安全実施

赤字→新規または数値

学校運営協議会提言(学校評価より)

1 教育活動の活性化及び充実

肯定的な評価向上(42%→93%)、校長の言葉、「学校のすべての人に役割がある」のように教職員、地域が一丸となって学校を支えている。引き続き「生きる力」の育成を大切にし、就労率の向上にも繋げていくこと。

2 地域交流の一層の推進

地域都立高校との交流は障害者理解につながり、インクルーシブ教育の推進となる。様々な場面で、同世代も含め、地域交流を推進すること。

3 組織的な人材育成の推進

「幹部の育成」の重要視は大切であり、企業も見習う面がある。教職員の能力を最大限に引き出せるよう、組織的、計画的に人材育成を進めること。

4 相談体制の一層の整備充実

全ての児童・生徒が「先生たちはいつでも相談に乗ってくれる」を目指し、一層の相談体制の整備充実を進めて欲しい。また、保護者の相談体制も一層整備し、様々な意見を学校改善に生かす工夫や努力をすること。

5 新事業の推進

新事業「おもてなしの精神の育成」は人でしか成しえず、「自立活動の一層の充実」は特別支援学校の根幹である。組織的に推進し、成果を広く発信すること。

自己理解を深める・障害理解を深める観点から様々な事業を進めること。

成果と令和8年度に向けて

方策1 生き生きとした教育活動

- 成果 各プロジェクト・行事の効果的実施
- 課題 ①12年間を見通す系統的指導整備
②行事等の教育課程上の位置付け明確化と内容精選、教育財産の蓄積

方策2 質の高い教育サービスの提供

- 成果 ①外部人材活用の授業改善
②ICTの効果的活用
③個に応じたキャリア教育充実
- 課題 ①外部人材等活用の研究授業充実
②ICT教材等作成と成果発信
③専門性向上研修の整備充実
④**自立活動の一層の充実**
⑤**指導マニュアル作成で専門性確保**

方策3 安全・安心な教育環境整備

- 成果 ①防災計画及び事故対応整備と対応
②避難訓練改善と二次避難準備
③人権意識向上と相談体制整備
- 課題 ①事故0更新と各種マニュアル改善
②在校生・保護者・地域連携の教育環境整備と医ケア、対応充実

方策4 開かれた学校積極的推進

- 成果 ①迅速で多様な情報発信
②地域貢献活動・連携活動の充実
- 課題 ①学習活動の積極的紹介
②積極的地域支援・連携・**貢献・奉仕**
③教育資源の多様な発信

方策5 ライフワークバランス推進

- 成果 働きやすさ高評価、授業時数適正化
- 課題 全校1便下校設定、時間外30時以下

方策6 学校連携と新事業対応等

- 成果 通学区域内各校との連携
- 課題 新規事業への柔軟かつ組織的対応